

上下水道 DX 推進検討会 設置趣旨

1. 設置趣旨

国民の安心・安全な生活や社会経済活動の基盤である上下水道の事業環境は、施設の老朽化の進行や、現場の担い手の減少、人口減少や節水型社会の進展に伴う収入の減少など、今後ますます厳しさを増すことが確実である。このような中、将来にわたり上下水道サービスを提供し続けるためには、データ・情報・知識等の資源をデジタル技術により活用し、業務や働き方を変革する上下水道DXの推進が必要である。

デジタル技術の活用により、メンテナンス効率の向上や広域連携の加速、大規模災害発生時における上下水道の早期機能回復などの事業の基盤強化に加え、異業種との連携による新たな価値の創出等も期待されるが、このような上下水道DXに向けた取組が広く全国の地方公共団体で実施されているとはいえない。

こうしたことを踏まえ、上下水道 DX の推進に係る具体的方策の検討を行うため、学識者、地方公共団体、関係団体が参画する「上下水道 DX 推進検討会」を設置する。

2. 検討事項

- ①業務の共通化 (優れた業務の分析・共通化・横展開)
- ②情報整備・管理の標準化 (情報整備・管理のあり方)
- ③DX 技術実装 (DX 技術カタログの策定、自治体と企業の連携促進)
- ④現状可視化 (経営状況等のみえる化、政策ダッシュボードとの連携)